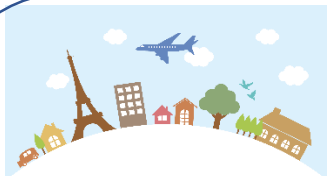




風も涼しくなり、少しずつ秋の気配を感じるようになりました。これから、生徒会選挙や合唱コンクールなどがあり、忙しい時間が増えますね。そんなとき、ほっと一息つくには読書がおすすめです。図書室には秋にぴったりの本もたくさんあるので、探しに来てください。



9月27日 世界観光の日

昭和56年(1981年)に、日本も加盟している世界観光機関(UNWTO)が制定し、観光に関する国際デーとされています。

📖『陽気なタイランド アジアのこどもに帰る旅』 森下ヒバリ：著

タイ料理の美味しさに感動した森下さんは、もっとタイのことを知りたいという好奇心で、現地に行きます。その地に立って感じたのは、まるで夏休みのようなリラックスしてウキウキした気分でした。バンコクの賑やかな屋台や、お風呂代わりに川で水浴びをするなど、現地ならではの楽しい話が満載です。

📖『いのしし親子のイタリア旅行』 渡辺茂男：作 太田大八：絵

童話作家の父イーノの仕事で、イタリアに行くことになった奥さんのシーシーと息子のウリウリ。出かける前から大騒ぎのシーシー、旅慣れているイーノ、とにかく楽しみなウリウリの3人親子の珍道中がユーモアたっぷりに書かれています。イタリアの観光地もたくさん出てくるので、一緒に楽しんでください。

📖『ニュースと合わせて読みたい世界地図』 旺文社 出版制作事業部：企画・編集

その国のことを何も知らずに行くよりも、どんな国なのか、産業は何があるのか、世界遺産はあるのかなど、詳しく知っておくとより楽しむことができます。この本には、世界各国のあらゆる情報がたくさん載っているので、いつか行ってみたい国への想像を膨らませてみませんか。

9月の紹介本は3類です。



❏ 361 『世界の日本人ジョーク集』 早坂 隆：著

世界から見た日本人のイメージをジョークで表現し、著者がエピソードを加えて解説しています。日本人の私達も、思わず笑ってしまいます。

❏ 387 『うわさの神仏 日本闇世界めぐり』 加門 七海：著

神社仏閣を含め、オカルトや宗教が大好きな著者が、古事記や七福神、鬼や妖怪の噂話について語ります。日本全国の肝試し現場へ行った話もあり、怖いけど笑えるエッセイです。

❏ 391 知のビジュアル百科『スパイ事典』 リチャード・プラット：著 川成 洋：訳

皆さんがスパイと聞いてイメージするのは、映画で活躍するカッコいい主人公ではないでしょうか。スパイの歴史から、実在したスパイの本当の姿を知ることができます。



この本、読んでみませんか? (図書委員 祐樹さんのおすすめ)

『怪談収集家 山岸良介の妖しい日常』 緑川聖司：作 竹岡美穂：絵

この本は、怪談収集家の助手の高浜浩介の身の周りにおかしな事が起こり続け、その謎を一つずつ解いていくミステリー小説です。

この本は中学1年生から3年生までどの年代でも楽しく読めます。また、この本は、シリーズがたくさんあるのでとても読み応えがあります。

ぜひ、読んでみてください。

